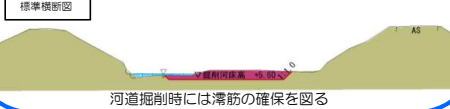


梨和川

河道掘削
※水位を低下させることにより堤防からの越水を防止



河道掘削時には滞筋の確保を図る

凡例 — 現況の川の形 赤線：整備を行う形

菅川

堤防の嵩上げ、堤防の補強
※堤防の高さを確保し、より強くすることにより堤防からの越水及び堤防の崩壊を防止



整備を行う形は現場の状況等により変更になる場合があります。

平成30年7月豪雨

二級河川沼田川水系 沼田川 めた 河川激甚災害対策特別緊急事業



提供 福山河川国道事務所

河川事業について

これまで広島県では、河川整備計画に基づき河川改修事業を実施してきましたが、平成30年7月豪雨により、甚大な浸水被害が発生したため、河川激甚災害対策特別緊急事業により緊急的に対策を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

河川整備計画

河川改修事業

激特事業 (5年)

河川改修事業

平成30年7月豪雨

河川整備計画
→長期的な河川の整備方針
計画期間：概ね30年

激特事業（河川激甚災害対策特別緊急事業）
→平成30年7月豪雨相当の雨量に対し、再度の家屋浸水被害を防止する事業
計画期間：5年（2018年度～2022年度）

河川改修事業
→治水安全度を高める事業

「もしも！」の時に役立つサービスを提供しています

広島県河川防災情報システム <http://www.kasen-bousai.pref.hiroshima.lg.jp/rivercontents/>

災害から命を守るためには、災害発生の危険性を察知することが重要です。

広島県河川防災情報システムは、広島県内に発表された大雨・洪水・高潮の気象情報、県内の雨量・河川の水位などの情報をリアルタイムで見ることができます。

いち早く災害発生の危険性を察知し、安全の確保を第一とした行動をとっていただくをお願いします。



スマートフォンサイト
<http://www.kasen-bousai.pref.hiroshima.lg.jp/sp/>



携帯電話サイト
<http://www.kasen-bousai.pref.hiroshima.lg.jp/mobile/>



提供 福山河川国道事務所

お問合せ

広島県 東部建設事務所 三原支所
〒723-0015 三原市円一町二丁目4-1
電話番号：0848-64-2322（代表）／FAX：0848-64-7422
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/218/>

(2020(令和2)年5月時点)

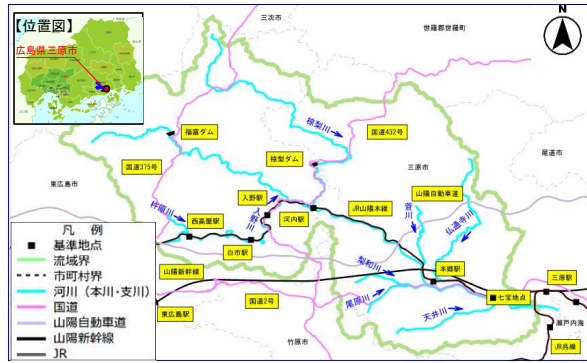


広島県
東部建設事務所
三原支所

沼田川流域の概要

沼田川は、広島県のほぼ中央に位置する流域面積540.0km²、流路延長47.8kmの二級河川です。その流れは、流域北西部に位置する鷹ノ巣山（標高922m）に始まり、途中、支川入野川、椋梨川、梨和川、仏通寺川などを合わせながら南東方向に流れ、三原市街地を貫流し瀬戸内海に注いでいます。

流域は、本川沿いに上流から東広島市（旧東広島市、旧福富町、旧河内町、旧豊栄町）、三原市（旧三原市、旧本郷町、旧大和町、旧久井町）の2市で構成されています。



平成30年7月豪雨の状況

7月5日(木)から7日(土)にかけて、山陽地方及び中国山地沿いを中心に、停滞した梅雨前線の活動によって広島県では記録的な大雨となり、沼田川の船木水位観測所や支川の本郷・沼田東水位観測所等において、越水開始水位を大きく超過しました。

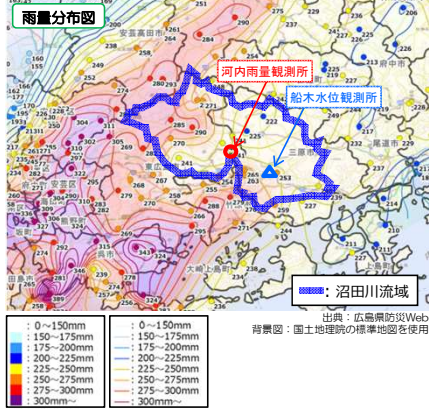
沼田川の船木・七宝観測所ともに、氾濫危険水位を17時間以上に渡って超過するとともに、観測史上最高水位を記録しました。

沼田川流域の河内観測所では降り始めからの累加雨量が442mmを記録(5日7:30~8日10:30)しました。

◆降雨の状況

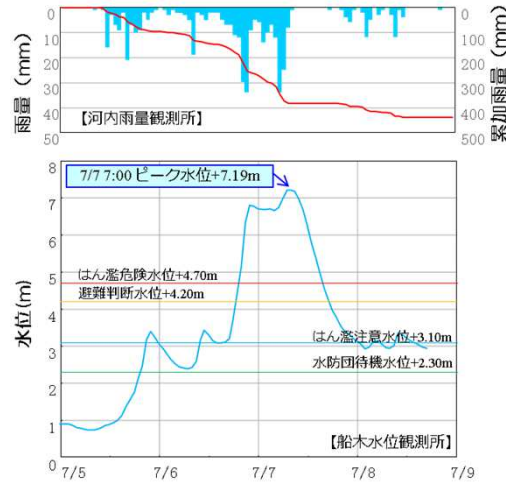
流域内のほとんどの雨量観測所で、5日0時~9日0時までの累加雨量は400mmを超過

平成30年7月6日12:00~7月7日12:00の24時間雨量



◆観測所雨量と河川水位

雨量(上段:河内雨量観測所) 水位(下段:船木水位観測所)



被害の状況

沼田川に設置された船木水位観測所や支川に設置された本郷・沼田東水位観測所等において、越水開始水位を大きく超過し、広範囲に浸水被害が発生しました。

沼田川及び支川(天井川、仏通寺川、梨和川、菅川)の沿川で、床上浸水2,137戸、床下浸水346戸(浸水戸数は、河川激甚災害対策特別緊急事業対象範囲内の世帯数をもとにした推計値)、浸水面積約670haの浸水被害が発生しました。

- ・沼田川の状況：現況堤防高を上回り、各所で溢水し、広範囲に渡って浸水被害が発生。
- ・天井川の状況：現況堤防高を上回り、1箇所堤防が決壊するとともに各所で溢水し、広範囲に渡って浸水被害が発生。
- ・仏通寺川の状況：現況堤防高を上回り、1箇所堤防が決壊するとともに各所で溢水し、広範囲に渡って浸水被害が発生。
- ・菅川の状況：現況堤防高を上回り、3箇所堤防が決壊し、広範囲に渡って浸水被害が発生。

河川激甚災害対策特別緊急事業の概要

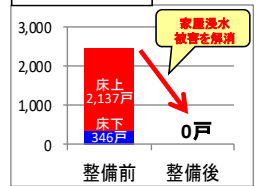
平成30年豪雨による被害に対し、災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定され、同程度の洪水によって、同様の被害が発生する恐れがあることから、改良復旧(河川激甚災害対策特別緊急事業)により流下能力を向上させ、平成30年7月豪雨洪水相当の流量に対する家屋浸水被害の解消を図ります。

沼田川河川激甚災害対策特別緊急事業の目標を達成するため、概ね5年間で沼田川本川及び支川の天井川、仏通寺川、梨和川、菅川において「築堤」「河道掘削」等の整備を行います。



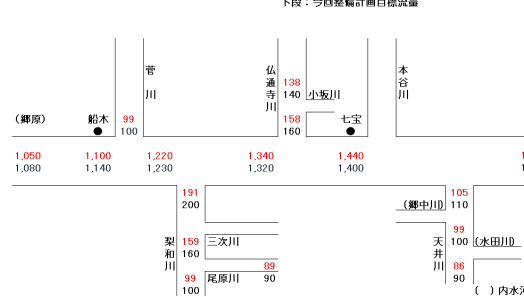
※上流から下流を見て右側が右岸、左側が左岸。施工位置は詳細な設計によって変更になる可能性があります。

事業効果



※浸水戸数は、河川激甚災害対策特別緊急事業対象範囲内の世帯数をもとにした推計値

流量配分図



沼田川

河道掘削、護岸整備、護岸の高上げ及び取水堰の改築
※水位を低下させること及び堤防の高さを確保することにより堤防からの越水を防止



標準横断面

河道掘削時には滞筋の確保を図る

天井川

護岸の高上げ
※堤防の高さを確保することにより堤防からの越水を防止



標準横断面

凡例 — 現況の川の形 赤線：整備を行う形

仏通寺川

河道掘削や護岸の高上げ及び背割り堤の改築
※水位を低下させること、堤防の高さを確保すること及び本川水位の影響をなくすことにより堤防からの越水を防止



標準横断面

整備を行う形は現場の状況等により変更になる場合があります。